



個室ユニット 推進協ニュース Number 143



- 1面 新春対談 横倉日医会長×赤枝会長
新年のご挨拶 (赤枝雄一会長)
こちら傍聴席
- 2面 新年のご挨拶
(副会長、委員長、事務局長)
- 3面 新年のご挨拶 (支部長)
ご存知ですか? 会員特典
- 4面 介護ニュース・ダイジェスト
用語解説
支部便り【千葉・大阪・佐賀】
ズバリ回答! 人事・労務のお悩み

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会 〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1
TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472 / MAIL: info@suishinkyo.net

新春対談 「人生100時代を乗り切る医療・介護とは」

地域での医療・介護連携強化が必須 (横倉日医会長) 個室ユニットで日本型介護の実現を (赤枝推進協会長)

平成30年、診療報酬と介護報酬が同時改定され、外国人労働者の受入れ拡大や消費税増税に伴う31年度報酬改定、介護人材確保加算の創設などが決まった。「人生100時代の経済社会の在り方」を医療・介護現場はどう乗り切るのか。日本医師会の横倉義武会長と全国個室ユニット型施設推進協議会の赤枝雄一会長に現状と具体策、新年の抱負を語ってもらった。

昨年を振り返って



赤枝会長

どんな1年でしたか。

赤枝 個室ユニット特養を拡充し、介護の質にふさわしいインセンティブを—という思いで活動しています。厚労省は個室ユニット率7割を目標に掲げているものの、なかなか進まない。昨年、どう進めるべきかを協議する検討会が厚労省に発足することが決まり、推進協、横倉会長の日本医師会、全国老人福祉施設協議会の3団体に有識者を交えて議論することになりました。まだ多床室の新設を認める首長もいます。先進国にふさわしい「日本の介護・福祉」を皆



横倉日医会長

新年のご挨拶 会長 赤枝雄一 兼愛会 理事長

明けましておめでとうございます。当協議会も設立して今年で15年目を迎えます。皆様のお力添えに厚く御礼申し上げます。昨年「介護報酬改定」もあり、微増で

はありますが、プラス改定となりました。しかし、最近の介護職員の人材難などユニット型個室のおかれる立場は依然として厳しく、更なる推進、介護報酬の見直しなど当協議会として厚労省をはじめ関係機関等に「インセンティブの働く介護報酬」を訴えていきたいと考えております。また、先進国にふさわしい介護・福祉を



「医療・介護の連携が地域にとって必須」との認識で一致した
横倉日医会長 (左) と赤枝推進協会長

介護人材確保について

あり、いまは最低保障を考えるべき時です。まず医療は国民の命と健康、介護サービスは生活支援の最低基準を保障することです。最低保障が確立し、財政的にも安定すれば、多床室から個室ユニットへ移れる人も多くなるのではないのでしょうか。

介護分野への外国人受入れ拡大について、どう、考えますか。

赤枝 個室ユニット特養は他より手厚く介護職員を配置して質の高いケアを提供し

消費税率引き上げについて

とひどい。人口構造が変わってしまい、若い人は急には増えません。人材確保は待たない。外国人の方にもお願いせざるを得ない。ただし、受け入れるには受け入れ態勢もしっかりする必要がある。まず、法整備が必要だ。

引き上げをどう考えますか。

横倉 やむを得ないでしょう。ところが、平成26年度の消費税率引き上げの際、厚労省の集計ミスのため多くの医療機関で十分に補てんされていない事態が発生しました(控除対象外消費税問題)。厚労省は陳謝しましたが、あつてはならないことです。「ゼロベースでも構わないから医療や介護も課税にすべきだ」という意見がありますが、そもそも医療費や介護費に消費税を課すことに国民が納得するでしょうか。税制を根本的に見直す方向の中で議論すべきです。

医療と介護の連携について

医療と介護の連携を強化するにはどうすればよいでしょうか。

横倉 福岡でユニット型個室の特養を経営しています。入所者のかかりつけ医師が施設に出入りできるようにしました。病気が発症してもカルテがありますから、医師も入所者も安心でき、好評です。地域によっては、外部に提携する医師がいけない施設に介護報酬や公的財政支援が必要だ。地域医療と介護施設の連携は地域の住む人たちの必須事項であり、それに必要な仕組みを整えたい。

赤枝 今の介護報酬水準では常駐の医師を24時間配置することは難しく、外部の医療機関に頼っている施設が多いようです。特養の入所者は要介護度が高く、ますます医療が必要になっていきます。加算ではなく、基本報酬を上げて対応する時が来ています。

平成31年の抱負

今年の抱負をお聞かせください。

横倉 30年4月には診療報酬改定が行われ、今年10月には(消費税率引き上げに伴って)また改定され、その半年後には32年度改定の議論が始まります。社会保障費を際限なく増やすわけにはいきませんから、医療関係者だけではなく、患者や家族の皆さんも納得できる改定や医療制度にしていかなければいけません。

ウの目タカ目 こちら傍聴席 30年介護10大ニュース

○：年末、取材記者3人に平成30年中に起きた介護に関する重要ニュースを選んでもらったところ、3人とも「平成30年度介護報酬改定」(4月1日実施、+0.39%)を挙げました。ほかの重要ニュースは?

○：経済紙の政治部記者は、「出入国管理法改正案が成立」(外国人労働者受入れ拡大、12月8日)をトップに。消費増税対応の「31年度介護報酬改定率決まる」(12月17日、+0.39%)、「31年度政府予算案、社会保障費自然増分1200億円圧縮」(12月21日)と予算関連を選んだ。

○：テレビ局社会部の女性記者は、「介護職員による虐待、過去最高」(3月9日)、「介護職員7割強がハラスト被害」(6月20日)を挙げ、介護現場の現実が気になったという。また「リーダー介護福祉士に年収440万円保証」(31年度改定で新加算創設、12月19日)の成果にも興味があるという。

○：医療・介護専門誌の記者は、「特養3割が赤字」(福祉医療機構の28年度調査、1月31日)、「1号保険料平均5869円、6.4%アップ」(5月21日)、「新加算の算定少な目」(11月5日、福祉医療機構調査)と専門誌記者らしいニュースを選んだ。

(橋) うーん… 昨年の10大ニュースかあ



新年賀詞



副会長 諸隈 正剛
佐賀支部長
天寿会 理事長

新年おめでとうございます。
さて、日本は「失われた20年、失われた30年」とデフレが続いています。OECDの国際比較データでは米国、英国、ドイツなどは経済成長していますが、日本は超金融緩和政策を続けているにも拘わらず、2000年以降名目GDPはマイナス成長が続いています。

一方、政府の経済財政諮問会議は「骨太方針2018」で「社会保障給付を抑制することが個人や企業の保険料負担の増加を抑制し、消費や投資の活性化を通じて経済成長に寄与する」と答申しています。保険料や税負担が軽くなったら、消費や投資が活発になるのか。国民は将来不安から財布の紐をしつかり締めているのが現状ではないでしょうか。新しい社会福祉法人の会計で、社会福祉充実残額がプラスであった法人の比率は12%、残り88%の法人はマイナスかつトントンで、将来の施設再生産が危うい状況です。政府には所得再配分機能で福祉重視政策を採っていただき経済成長を期待します。



副会長 野邊 正涼
黒潮会 理事長

私達社会福祉法人を取り巻く環境は少子高齢社会を見据え日々議論がなされております。今年十月に導入される消費税率のアップを踏まえ、介護給付費分科会においていろいろな議論が既になされております。

反面、介護分野においては介護の担い手不足が深刻な問題となっており、確保することが大きな課題となつてきております。昨年、国において改正出入国管理法が成立しました。今後も増大する介護ニーズへの対応を真剣に取り組んでいく必要性を感じます。

それぞれの会員法人でも課題は多いかと思いますが、前を向いて着実に今おかれている環境の中で個室ユニットケアの特徴を活かして人権の尊重とサービスの質向上に取り組んでいかれるよう期待しております。



副会長 高木 邦格
国際医療福祉大学 理事長

昨年の医療・介護同時改定は僅かながらプラス改定という結果となりましたが、施設運営においては、介護人材不足の状況に歯止めがかかる環境になく、会員の皆様方は良質なサービス提供に日々苦勞されていることと存じます。

今後は、介護人材確保が最大の課題ですが、本年10月の消費増税に伴い予定される、追加の処遇改善策への対応や、外国人介護人材では新たな在留資格の導入が予定されるなど、施設運営においては様々な決断を迫られる年になるのではないかと考えます。

超高齢社会で求められる医療・福祉の実現に向けて、何もできず恐縮ですが、本年も引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



副会長 栗野 裕治
総務企画・広報委員長
八生会 理事長

明けましておめでとうございます。2019年は「平成」から新元号に代わる大きな変革の年、希望の年になります。また東京オリンピック開催が翌年となり、さらなる経済・景気も上向くことで生活環境も大きく変化していくことになるでしょう。介護業界は今まさに人材不足が大きな課題になっています。今年4月から施行される介護分野における外国人特定技能制度（仮称）を上手に活用していくことが重要だと考えます。また秋には消費税が8%から10%に改正されるため、施設運営にも影響が及ぶことが予想されます。十分な対応策を準備していただきたいと思えます。推進協としては今後とも早く会員施設に情報を提供してまいりたいと思えます。今年一年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



副会長 田伏 清
全国支部長会代表、大阪支部長
バルツア事業会 理事長

いつもいつも全国支部会では、各支部長様にはお世話になり誠に有難うございます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

おそろく今年の支部会に於きましても、危険水域に完全に入ってしまったに、国の施策により介護分野でも在留資格を広げて外国人を受入れることになりましたが、実際の受入れは各施設の独自の努力により既に行なわれており、現実にはどの様に変化していくのか、しばらくの間は見極める必要があるかと存じます。いずれにせよ人材は施設運営の根幹である事は間違いの無い事であり、今年も取り組みまして出来る限りアイデアも含めましたフィードバックを会員の皆様にして参りたいと思っております。よろしく宜しくお願い申し上げます。



副会長 安江 紀子
幸紀会 理事長

謹んで初春のごあいさつを申し上げます。赤枝会長のご尽力のもと、大きく飛躍を遂げて参りました当協議会でございますが、今年は厚労省のもとで行われる個室ユニット型施設推進検討会に会長にご出席いただけます機会が設けられますこと、本当に嬉しいニュースでございます。

皆様とともに黙々と続けて参りました個室ユニットケアに対する評価が今やつとご理解いただけるようになったと大変うれしく存じております。この時こそ、会員の強いきずなのもと、一層努力して参らなければと改めて想いをいたして居ります。

職員の確保に四苦八苦の日々ではございますが、この苦しみの中でも、ユニットケアのすばらしさ、大切さを職員とともに今一度認識し、くじけずうな心を会員相互の励まし合い、助け合いで何としても守って参りたいと存じます。本年もどうぞよろしく宜しくお願い申し上げます。



介護保険委員長 藤村 二郎
久住会 理事長

明けましておめでとうございます。今年度は消費税対応並びに新たな処遇改善の仕組みが秋ころを目途に準備が進められています。

また、人材確保の問題は介護事業に留まらず多くの産業において不足している状況を踏まえ、外国の方々の就業について法律並びに運用の議論が進んでいる状況と理解しております。

過去に例を見ないほどの急激な人口構造の変化に対応すべく働き方の改革が急がれています。会員施設様にはその様な状況のなか、日々高齢者介護・福祉において課題山積であると同時にも少くともより良いサービスに真摯に向かわれている状況と存じます。このような時代だからこそ、協議会としての機能や役割に期待が寄せられていることを踏まえ職責をはたして行きたいと思っております。引き続きよろしく宜しくお願い申し上げます。



研修委員長 井手 明利

ユニットケア推進事業推進室長

介護現場から職員が離れていく中で、職員を育成し定着させていくには職場環境が大きく影響すると思えます。職員が日々意欲をもち希望ある職務を遂行していくためには施設理念を具現化し入居者生活と連動していくことが必要です。

また、入居者の暮らしを支えていくには施設サービス計画書を中心にPDCAに沿った生活支援を理解し、尊厳の保持と自立を基本とし、権利擁護（虐待・身体拘束など）、ケアの本質（介護の原則、マニュアルなど）、組織・風土（職場環境など）を職員共通の考え方として理解できるように取り組みを強化していくことで体力のある施設が構築できると考えています。支部会と連携しながら座学と実践を組み合わせた研修会を開催し、現状の改善につながるよう努めていきたいと思います。



事務局長 赤枝 眞紀子

しようじゆの里三保 施設長

明けましておめでとうございます。当協議会の会員の皆様におかれましても介護職員の人材難など様々な問題に直面されていることと思えます。

事務局としては、諸問題について会員間のネットワークを活用し、情報共有・問題解決していけるよう運営に心掛けてまいりたいと思えます。「ユニットリーダー研修事業」も年を重ねるごとに受講生からの評価も高くなって参ります。これも皆様のご支援によるものと感謝申し上げます。

ユニットケアの良さを広げるとともに、人材難など様々な問題がある中で質の高いケアを実践出来るよう事務局として働きかけていきたいと思います。会員の皆様を抱える事務局として働きかけていきたいと思います。本年もよろしく宜しくお願い申し上げます。

支部長挨拶

※都道府県コード順、敬称略

北海道支部長 今千尋

函館大庚会 常務理事



北海道でも奨学金制度や外国人登用、介護ロボット導入など人材定着を図る多彩な話題が出ています。会員一同、情報共有をしながら、よりよいアイデアで個室ユニット施設運営を充実させていきたいと思

秋田支部長 稲庭千弥子

友遊会 理事長



赤枝会長からのご指導で、昨年秋田支部長を拝命しました。少子高齢社会の中でどのように人材確保・育成をしていくか、道筋を出せるように頑張りたいと思

宮城支部長(代行) 佐々木亀一郎

元気村法人本部グループ 統括本部長



宮城は全国一介護職員が不足するという予測があります。人材不足の中でもしつかりとケアサービスの質が担保できる次世代型施設体制の確立と入管難民法改正により海外人材受け入れなど魅力ある支部活動により会員拡大を図ります。

茨城支部長 埴律雄

しらとり 施設長



「最高の笑顔をお客様に」を法人の理念に掲げ、入居者様、ご家族、職員さん、地域の皆様笑顔で溢れる、ユニットケア施設を目指します。また、協会の発展に寄与できるよう微力ながら努めてまいります。

埼玉支部長 尾島朱美

関東福祉専門学校 校長



介護の教育や実践の場において「変革の波」は更に大きな波となり、更に新たな波も押し寄せて来ています。留学生・技能実習生・EPAなどの受入環境を整えながら、共に生きる共生社会を目指していくことが求められます。まもなく平成から新しい時代を迎えますが、介護を担う介護福祉士の養成や人材確保のために一生懸命に取り組んで参ります。

千葉支部長 渡辺好江

しょうじゅの里茂原 施設長



2月には、介護系を学ぶ学生を中心に、介護現場の素晴らしさ、看取り等をテーマとした研修会を企画中です。介護医療福祉の素晴らしさを感じる機会に出来ればと考えております。今後も、様々な企画を通して介護、ユニットケアの素晴らしさを発信していきたいと思

東京支部長 佐々木亀一郎

元気村法人本部グループ 統括本部長



第4次産業革命といわれる中、施設の在り方なども大変な変革期となることと思

神奈川支部長 広嶋稔之

みなと暮らす町 施設長



本年は第13回全国個室ユニット型施設推進協議会全国研修大会in神奈川2019がパシフィコ横浜で開催されます。今後のユニットケア推進のヒントをたくさん盛り込んだ皆様にとって実りある大会となるよう準備します。是非ともご参加ください。

新潟支部長 田中政春

長岡三古老人福祉会 理事長



施設経営に影響を及ぼす介護人材の確保等、課題が山積みしております。県内会員施設と協力して職員の処遇や職場環境の改善に取り組んでいきます。また、利用者個人の尊厳を保持できるユニットケアの魅力を発信し、会員施設の拡大に努めて参ります。

福井支部長 山本武生

一乗谷友愛会 理事長



昨今、業界全体の人不足が続く中、いかに職員を採用していくか、定着率をどのよう

AIの活用の検討も、考えていきたいと思

山梨支部長 功刀融

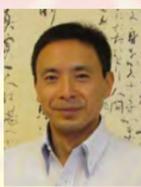
芳寿会 理事長



我が国における医療と介護の現場は、人材不足が深刻になってい

静岡支部長 増田公基

七恵会 理事長



昨年より静岡支部長を拝命いたしました。静岡県では「個室ユニット型施設連絡会」と連携して各種研修会を開催し、ケアの質とマネジメント力の向上を目指して活動しています。これからも会員増加と支部活動の活性化に努めてまい

愛知支部長 若月剛一

春生会 理事長



昨年頻発する災害に、人材不足と施設単体では抗しきれない脅威にさらされていることを実感する年になりました。そのよう

和歌山支部長 永山間夕美

緑風苑 施設長



私達自身が、私達の家族が暮らしたいと思

鳥取支部長 田中彰

賛幸会 理事長



介護人材確保と待遇改善が今年の課題であり目標です。介護人材の

島根支部長 杉原建

社会医療法人昌林会 理事長



地域包括ケア強化法による改正で、老健施設はリハビリ、在宅復帰

広島支部長 山田忠義

かきつばた福祉会 理事長



本年も引き続き、処遇改善策をめぐる問題や、消費税率10%増

山口支部長 江澤和彦

医療法人博愛会 理事長



「平成」のフィナーレに感謝を込めて、新たな幕開けに

徳島支部長 武久洋三

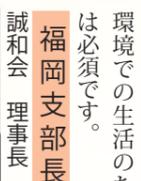
平成記念会 理事長



急性期病院でも患者の平均年齢が70歳を超

福岡支部長 牟田和男

誠和会 理事長



慢性的な人材不足が続く中、人材確保は

トの出版に向けて、福岡支部はもちろん北部九州の会員の皆様方とともに連携を図って参りたいと思

長崎支部長 池原香

のぞみの社 施設長



入居者お一人おひとりのかけがえのない人生の最終章に関わらせていただくことへの感謝と責任を感じる日々です。温かく笑顔に溢れた素晴らしい職業を私達自ら大いに発信して参りたいと思

熊本支部長 小笠原嘉祐

リテライトホーム 理事長



地域包括ケアシステムでは様々な専門性の連携が必要となり、その中の介護福祉士の役割の明確化が求められています。我々は

大分支部長 柿本貴之

暘谷苑 施設長



介護人材確保がますます厳しさを増す中、本年も取り組むべき課題が山積みしておりますが

宮崎支部長 金丸達也

望洋の郷 施設長



昨年は推進協の出前講座「高齢者の尊厳を守るケアの実践」ユニットケアの理解を

鹿児島支部長 川島葉留美

慈眼寺園 施設長



新しい時代を迎える年明けです。昨年は支部の施設に呼びかけ、研修推進事業室長の出前講座を開催したところ、大変素晴らしいと喜ばれました。本年も支部会の開催と井手室長の研修を組み合わせて個室ユニット推進協への協力と御理解をいただけるように企画しております。有難うございました。

沖縄支部長 上里絹代

東雲の丘 理事兼研修部長



「第12回全国研修大会in沖縄2018」では皆様のご協力のおかげで盛会裏に終えることができました。今年は大大会で学び培った「個別ケアの手法」の充実強化を図るべく会員施設の拡大に努めて参ります。

ご存知ですか？ 会員特典

◎ホームページ制作サービス

ホームページを開設していない会員様には、無料でホームページを作成いたします。ご希望の施設様は、会員専用ホームページから申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、事務局までご連絡ください。

あやめの里様 (長崎県)
http://www.sazagawa.com/ayame/

◎「あやめの里」福田吾吾施設長から

今年三月より推進協へ入会させて頂き、九ヶ月が経過しました。会員の特典として、二度の出前研修で井手先生にご講義頂き、多くの職員は目から鱗が落ちるような思いを味わったように感じました。そしてもう一つの特典として、ホームページを作成して頂きました。法人の理念や施設の概要をはじめとして、第三者評価結果、求人案内等を組み込んで頂き、満足いく内容となりました。介護職員の不足がより深刻さを増す今日に於いて、今後私共が於いてもSNSを利用しての求人募集につなげることで、効果の期待しています。そして何より、推進協のネットワークを通じて得られたものを、ご利用者の幸せの為に確り還元していかなければならないと考えております。◎推進協ニュースウィークリーを配信「推進協ニュースウィークリー」を「速報」臨時号をメール配信しています。まだ受信されていない会員様は、事務局までメールアドレスをご連絡ください。

介護ニュース・ダイジェスト

12月1日～12月31日

介護に関する政府機関や民間団体の動向(ダイジェスト)を掲載しています。詳細は厚労省や各団体のHPなどをご覧ください。**赤字は重要ニュースまたは推進協関連ニュース。**

■入管法改正案が成立

外国人労働者の受入れを拡大する出入国管理法(入管法)改正案が参院本会議で可決され、成立した。一定の技能を持つ外国人に新たな在留資格(特定技能)を与え、就労を促す。施行は31年4月1日。ポイン

トは以下の通り。

【特定技能1号】相当程度の知識または経験を要する技能を持つ外国人が対象。最長5年の技能実習を終了するか、または日本語能力と技能が問われる試験に合格することが条件。在留期間は通算5年。家族の呼び寄せは認めない。
【特定技能2号】より高度な試験に合格し、熟練した技能を持つ外国人が対象。更新回数に制限がないため長期の就労が可能。家族の呼び寄せもできる。

■介護現場革新会議が初会合

厚労省の「介護現場革新会議」は初会合を開き、業務の効率化やマネジメント手法、職場環境の改善、介護助手、ロボット・ICT活用などの実例やモデル案などを30年度内にまとめる方針を決めた。メンバーは全国老協、全老健、日医など。

■ケアマネ合格者過去最低

厚労省は30年度の介護支援専門員実務研修受講試験の結果を発表した。受験者数4万9333人、合格者4990人、合格率10.1%で、いずれも過去最低。受験資格の厳格化、研修時間の増加などが原因か。

■新処遇改善の設計案を提示

第166回介護給付費分科会は、厚生労働省が示した「新しい介護人材の処遇改善(新加算創設)」と「介護保険サービス等に関する消費税の取扱い案」(影響分の上乗せ)を議論した。

■新処遇改善(新加算創設)

▽現在、処遇改善加算(Ⅰ)(Ⅱ)(Ⅲ)を算定している事業所などを算定要件とする▽加算を2段階(職場環境改善に取り組んでいる事業所を優遇)とする▽配分は事業者の裁量を重視する※経験・技能のある介護職員への配分を優先し、一定の割合で他の職員への配分も可能とするなどのルール案を大枠で承認した。財源は2000億円程度。最低限、1人以上の経験・技能のある介護職員について賃金水準を「月額8万円の処遇改善」または「年収440万円以上」(全産業平均)になるよう改善するルールとする。

■消費税引き上げ対応(報酬上乗せ)

①基本報酬 影響分を基本単位数へ上乗せする②加算▽課税経費大きい加算は上乗せを行う▽その他の加算については、基本単位数への上乗せの際、加算に係る消費税負担を含めて上乗せする③区分支給限度額 中重度の利用者に考慮して基準額を引き上げる④基準費用額、負担限度額、(補給給付) 29年度介護事業経営実態調査の分析による、「食費」「居住費」に一定の変動がみられ、影響分を現行の基準費用額に上乗せする⑤負担限度額 入所者の所得状況等を勘案して決めず、消費税引き上げによって直接的に変動しないため、見直しは行わない⑥福祉用具貸与、住宅改修 昨年10月に設定した福祉用具貸与の上限額のみ税率分を引き上げる。

■与党税制改正大綱を決定

与党は31年度の与党税制改正大綱をまとめた。ことし10月1日の消費税引き上げに消費の落ち込みを防止することが最大の狙い。軽減税率制を導入するほか、自動車と住宅の減税措置を拡大、ポイント還元、プレミアム商品券発行などを実施する。

■介護はプラス0.39%

根本厚労相と麻生財務相は折衝の結果、消費税率引き上げと同時に実施する平成31年度介護報酬の改定率を+0.39%とすることで合意した。また①補給給付に係る基準費用額引き上げの対応として、別途、国費7億円程度を31年度予算案、また介護人材の処遇改善に国費210億円程度を同予算案にそれぞれ計上する。介護のほか、診療報酬+0.41%、(内科+0.48%、歯科+0.57%、調剤+0.12%、薬価▲0.51%、材料価格+0.03%、障害福祉サービス等+0.44%も決まった。同時に低所得の高齢者の介護保険料を最大70%まで(現行は最大55%まで)軽減することで(現行は約1100万人)も合意した。対象は約1100万人。

■自然増分、1200億円削減

根本厚労相と麻生財務相は、31年度予算折衝で、社会保障費の自然増分6000億円(概算要求額)を1200億円削減し、4800億円とすることで合意した。削減対策は①所得の高い被保険者の介護保険料を引き上げる(610億円)②薬価引き下げ(500億円)▽生活保護給付の段階引き下げ(300億円)など。過去3年間は自然増分を毎年5000億円程度以内に抑えてきた。

■審議報告を取りまとめ

第167回介護給付費分科会は、10月1日の消費税率引き上げに伴う「新しい介護人材処遇改善案」(新加算)と「消費税率引き上げの対応案」(報酬上乗せ)に関する審議報告を承認した。いずれも31年度介護報酬改定の中で実施する。整理した審議報告を年内に公表する新たに盛り込まれるポイントには以下の通り。

■新処遇改善(新加算創設)

▽加算は2段階とし、2段階目の算定要件は処遇改善加算の「職場環境改善」を2つ以上取り組み、ホームページなどで「見える化」していること▽「経験・技能のある介護職員」は勤続10年以上の介護福祉士を基本とするが、「介護業界経験10年」など事業者の裁量でよい▽①加算をどう配分するかは事業者の裁量とするが、「経験・技能のある介護職員」を最優先し、最低限、事業所に1人以上を「給与8万円程度」または「年収440万円以上」とすること②「その他の介護職員」③「その他の職員」へ傾斜配分すること可能とするが、その場合、①②③の配分割合が「2:1:0.5」になるようルール化する。ことなど。

■消費税率対応(報酬上乗せ)

第166回「経済財政諮問会議」は、「経済財政再生計画工程表2018」を決定した。消費税率引き上げの影響に備え、約2.3兆円規模の消費増税対策を盛り込んだ。31年度の3年間を経済財政の「基礎強化期間」と位置付け、社会保障制度では給付の適正化や地域差の是正、生産性の向上などを目標とする。介護関係では利用者の自己負担割合の見直しや、ケアプランの有料化、職員配置の効率化、社会福祉法人の規模拡大などを盛り込んだ。

■31年度予算案100兆円突破

政府は31年度の当初予算案を閣議決定した。総額101兆4564億円、当初予算で初めて100兆円台を突破した。社会保障費は34兆587億円、過去最大の規模。ただし、自然増分6000億円(概算要求額)を1200億円削減し、4800億円とした。介護関係予算は3兆2301億円(30年度当初予算比3.7%増)で、31年度介護報酬改定の予算を計上した。75歳以上の後期高齢者医療制度の低所得者の軽減措置を廃止して7割軽減に戻す。消費増税に対する臨時対策は2兆280億円増収見込み額の1兆3千億円を大幅に上回っている。

■外国人受入れ方針を決定

政府は外国人労働者受入れ拡大に向けて創設する新在留資格(特定技能)に関する「基本方針」と「分野別運用方針」を閣議決定した。また閣議に先立ち、関係閣僚会議で「総合的対策」を決定した。4月1日の施行までに政省令等によって具体的な運用方法などを策定する。ポイントは以下の通り。

■基本方針

▽対象は介護や建設など14業種▽経済情勢の変化がない場合、受入れ見込み人数が上限▽大都市への集中を防止▽報酬は日本人同等以上▽業務に共通性がある▽転職可能▽悪質な仲介ブローカーを排除▽2年後に見直し検討などが盛り込まれた。

■分野別運用方針

▽受入れ人数は5年間最大34万5150人(うち介護は最大6万人)▽業種ごとに技能試験と共通の日本語能力判定試験(新設)を実施するなど。総合的対策 就労する外国人との共生を目指す▽全国100カ所以上の相談窓口を設置▽行政サービスの多言語化を推進▽新在留資格の日本語試験について関係9カ国と政府間文書を作成するなど。

支部便り

千葉支部

「看取り」講演会開催のご案内
2月5日(火)、「看取り」をテーマに講演会・シンポジウムを開催します。講師には介護アドバイザー・高口光子氏をお招きし、パネリストとして赤枝病院院長・須田雅人氏にもご参加いただきます。県内だけでなく近隣の施設からのご参加もお待ちしております。ぜひ、奮ってご参加ください。

大阪支部

近畿・大阪支部会
および新年会開催のお知らせ
1月30日(水)、第23回近畿・大阪支部会と新年会を開催します。
【近畿・大阪支部会】
今回は、介護業界に精通されている参議員議員を特別にお招きし、お話を伺う予定です。
また、各施設の現在の状況や外国人材の確保についての取り組みについての情報交換、3年後に開催予定の『全国研修大会in近畿』について話し合いを行う予定です。
日時：1月30日(水) 14時～17時
場所：大阪市中央公会堂大研修室
【新年会】
日時：1月30日(水) 18時～
場所：「河久」(大阪市北区梅田)
会費：お一人様 10000円
○お問合せ先：サル・ナート(村島) 072(860)1117

佐賀支部

ユニットケア研修
看取り研修会を開催
平成30年11月30日、佐賀支部(諸隈正剛支部長)は佐賀市内のガーデンテラス佐賀ホテル&マリトピアで、ユニットケア研修会を開催し、14施設(会員10、非会員4)40名が参加した。



佐賀支部研修会

井手明 利ユニット ケア研修事業推進室長が「尊敬の保持と自立を守るケアの実践」をテーマに講義した。

また、佐賀県医療センター好生館緩和ケア病棟の医師が死生観について講義し、「看取りの主役は入居者と家族。死とは『人の物語』の完結であり、私たちは最期までどう生きていたかを支援しなければならぬ」と語った。特に「亡くなる際は、ご家族へのケアがとても重要だ」と強調した。

ズバリ回答!

◎慢性的な人手不足どうする?



【今月の相談内容】
介護現場から「人手が足りないから、はやく増やしてほしい」と言われます。募集はしているのですが、応募がないため慢性的な人手不足となっています。職員を増やす画期的な方法はないですか。

【回答】

人手が足りなくなっているのは、人口構造の問題です。画期的な方法はありませんが、募集を考える前に考えておかなければならないことがあります。
・どの時間帯にどのような業務をする人がどのくらい不足するのかを可視化し、現場と共有します。そうできれば、感覚論でしか議論できず、決着することはできません。
・仕事分析を行い、削減できるもの、他の時間帯に振り分けることが可能なもの、有無等を検討します。利用者様ごとに予定している介護サービスを一覧でできる散布図のようなものを作成し、点の集中しているところをサービスの集中しているところとして可視化します。
・どんな人でもいいから採用することは絶対にしない。定着率に影響があります。「新人職員が入ったら辞めよう」と機会を待っている職員がいるかもしれません。ならば、それに変わる人で無い場合、介護現場の質は低下傾向となる可能性もあります。

・人手不足という言葉に振り回されず、当たり前だと思つこと。
・人に頼らない経営を考えること。外注することで、固定費を固定的な変動費に返還する。
・優秀な人に仕事を集中させないこと。職務の標準化を行うことで誰でも出来る職務になります。また、それが「量」の問題であるならばICT化できないか等を検討してみてください。

・今の職員の定着率を高めること。働きやすく、働きがいのある職場には、確実な応募があります。週休3日制や短時間制職員制、介護現場とテレワークの併用、表彰制度など、働きやすさである満足要因を高める方法はいくつでもあります。

まずは、冷静に、現状を確認するところから一歩です。
(監事・特定社会保険労務士 栗田淳二)

【用語解説】

軽減税率制度

10月からの消費税率引き上げに伴い、低所得者に配慮する観点から実施される制度。事業者は「酒類・外食を除く飲食料品」や「定期購読契約が締結された週2回以上発行される新聞」に適用される軽減税率(8%)分と、それ以外の商品に適用される標準税率(10%)分とを分けて、商品管理や経理処理、消費税の申告・納税をすることになる。

特養などの免税事業者の場合、売上げにはこれまでと同様に消費税は課税されないが、課税事業者である取引先(委託業者など)から、適用税率ごとに区分して記載等した請求書(区分記載請求書の交付を求められることが考えられます。免税事業者であっても制度の実施に向け、状況に応じた早めの準備が必要です。

岐阜県



社会福祉法人 恵雄会

特別養護老人ホーム

こころの丘



～ 「私らしく」を大切にした暮らしを全力でサポート ～

【施設の紹介】

◎「半分、青い。」のロケ地
特養がある恵那市岩村町はNHKの朝ドラ「半分、青い。」のロケ地に選ばれた城下町です。「半分、青い。」の恵那市を中心とした経済効果は32億7千万円に上ると試算されました。秋風羽織に扮したトヨエツ(豊川悦司)が五平餅を食べて「うんまー」といっただけで、五平餅の売り上げは4倍になったそうです。



施設外観

◎施設の由来
名古屋駅からJR中央線快速で恵那駅まで約一時間。恵那駅から第三セクターの明智鉄道に乗り換えて20分ほどで岩村駅に到着します。

◎職員手作りの庭や遊歩道
敷地内の庭やステージ、遊歩道などは全て施設の職員による手作り。施設を作る際に、伐採した木や掘り起こした石

などを活用して作りしました。



手作りの庭とステージ



薪小屋と奥にある遊歩道

◎年間30〜40名を看取り
積極的に看取りを進め、年間30〜40名の方を看取っています。年間の死亡者が160万人を超える多死社会が訪れるといわれており、死に場所の受け皿として特別養護老人ホームで看取ることの重要性が職員にも浸透してきており、「心のこもった看取りとは何か」「自分たちに何ができるのか」を模索しながら看取りに取り組んでいます。そして多くの遺族から「感謝しています」という言葉をいただいています。

◎楽ワザ介護を実施
介護アドバイザーの青山幸広先生(ケアプロデュースRX組・代表取締役)と年間契約を結び、定期的に楽ワザ介護の指導をもらっています。

◎職員手作りの庭や遊歩道
敷地内の庭やステージ、遊歩道などは全て施設の職員による手作り。施設を作る際に、伐採した木や掘り起こした石

◎職員の育成

「院内学会」と称して、年に1回、職員が発表する機会を設けています。また、認知症、個別ケア、看取りの職員向け研修を行っています。

◎地域交流
法人が運営する「サ高住・ハートウイング」や「老健・こころ」などのホールを活用してコンサートや市民講座、医療に関する講演会などを開催しています。特に、コンサートはハンガリーやイタリアなど海外の演奏家が多く、地域の方々がクラシックに触れる機会の一つとなっています。

◎10周年記念コンサート
昨年6月に開設10周年を記念して、恵那市の職員でテノール歌手の市川太一さんを招き、敷地に手作りした野外ステージでコンサートを開催しました。

◎お茶会
茶道の後継者でもある職員をはじめ、年間を通じてお稽古をした職員がお点前を披露し、一般の方にもご参加いただいています。

◎井口智雄理事長から
「NOといわない特別養護老人ホーム」をスローガンに、医療依存度の高い人なども、門前払いをしないで受け入れて行く努力を続けていきたいと思っています。



井口路苑副理事長と井口理事長

〒509-7403 岐阜県恵那市岩村町 2453-123 TEL:0573(43)0556 E-mail:oka-jimu@kaiyu-kai.com

定員：特養80床(一般42、特別14、トイレ付24)、ショート10床

愛知県

社会福祉法人 高久会

特別養護老人ホーム

第二陽だまりの里



～ 目配り・気配り・心配りでその人らしい暮らしを支援 ～

【施設の紹介】

◎アクセス
名古屋駅から名鉄電車で青塚駅まで20分弱。駅から10分ほど歩くと、シラサギが舞うのどかな田園地帯の中に立つ施設に到着します。



施設外観



1Fの奥に見えるのがカフェ



ベッドサイドの水洗トイレ

◎流水プールで機能訓練
デイサービスでの利用が主となつていますが、ご利用いただける入居者の方にも流水プールで機能訓練を行い、介護状態の維持向上に取り組んでいます。



流水プール

◎人材育成と看取り
介護職として10年勤めていたとしても、1つのユニットだけしか経験できないと、「寝たきりの人しかいないユニットの経験しかない職員はおむつ交換のスキルは身につくが、他のスキルが身につかない」といった具合に、そのユニットの入居者の状況に合わせてケアの経験が積み重なってしまいます。

◎職員手作りの庭や遊歩道
敷地内の庭やステージ、遊歩道などは全て施設の職員による手作り。施設を作る際に、伐採した木や掘り起こした石

を積めるようにしています。

◎職員の良いところ探し
職員同士、他の職員に対して、感謝や良かったところを伝えるための「ありがとうカード」「いいね！カード」を入れる箱を設置しています。日頃のケアやちょっとした行為が他の人から認められることが職員のモチベーションアップにもつながっています。



カードを入れる箱

◎看取りが職員の良い勉強になるか、最期までどうやって楽しむことができるか―それらを支援していくためには、職員の共通認識が必要であり、職員にとって看取りは一番良い勉強になると思っています。



眞野理事長

◎入居要件が原則要介護度3以上になったことで、施設の入居者の平均要介護度は4.5、寝たきりの方が増えてきました。要介護度3以上の方に対するユニットケアの在り方について模索しつつ、これまで以上に人材育成に力を入れ、より良いケアを提供していきたいと考えています。

〒496-0003 愛知県津島市寺野町好土4 4 TEL: 0567(69)7999 E-mail:tokuyou-dai2hidamari@88z.jp

定員：ユニット型 80床

山形県

社会福祉法人 慈敬会

特別養護老人ホーム ひがしざわ

～ 安心できる『快互（かいご）』とともに『時季（とき）』を歩む ～



ユニットの入り口

◎和の雰囲気大切に
入居者の方の殆どが、日本家屋に住み慣れた方たちです。内装は木のぬくもりが感じられるよう木材を多く使用

◎玄関前にはお地藏さまがあり、施設や地域の皆様を見守っています。人が何かにすがりたいという思いに駆られたときに、手を合わせて祈ることが出来る場を作りたいという渋谷磯夫理事長の思いで作られました。



玄関前で見守るお地藏様



施設全景

【施設紹介】
施設は13年前に村山市の観光名所の一つである東沢バラ公園の南側、街並みが一望できる小高い場所に建築されました。元は温泉施設があった市民の憩いの場だった市の土地です。

【働きやすい職場づくり】
男女を問わず、法人設立当初から働きやすい職場環境、仕事と家庭が両立できる職場環境づくりに積極的に取り組み、山形県から「山形いきいき子育て応援宣言企業」の認定を受けたほか、平成26年には、山形県内の社会福祉法人としては初めてとなる次世代育成支援対策推進法に基づく



日本庭園



レトロな雰囲気のお店



廊下のコーナーに名産の将棋駒



ユニットへ続く廊下

し、自宅と同じような和風で落ち着いた雰囲気を大切にしています。

子育てサポート企業の認定（通称「くるみん認定」）を取得しました。具体的には、週37・5時間勤務、年間休日120日、年次有給休暇取得率85%以上、育児休業は最長3年、子の看護休暇は時間単位で年次有給休暇とは別に有給で取得可能、保育手当（保育料の半額3万円上限）の支給などを実施しています。

◎看取りが職員の成長に
地元の人に馴染みの深い同グループが運営する尾花沢病院（医療法人敬愛会）と連携することで、入居者やご家族から安心信頼を得られています。また、「苦痛を伴う延命ではなく、穏やかで自然な形で看取りを」という理事長の考えに基づき、看取りには10年以上取り組んでいます。今では看取りをすることが当然の流れになっていますが、入居者やご家族の希望を伺い、施設でできることやできないことを説明し、納得して入居していただいています。

入居者が最期を迎える日まで、好きなものを召し上がりたり好きな音楽を聴いたりして、できるだけ穏やかに、ご家族とゆっくり最期の時を過ごしていただけるよう心がけて支援しています。看取りは職員にとつてつらい経験ではありませんが、ご家族より「今までありがとう」と感謝の言葉をかけられ、時にはご家族と手を握りあって涙を流すなど職員のかげがえのない経験となり、人として成長する機会にもなっていると思えます。



大山施設長

【大山健施設長から】
子育てサポート企業の認定（通称「くるみん認定」）を取得しました。具体的には、週37・5時間勤務、年間休日120日、年次有給休暇取得率85%以上、育児休業は最長3年、子の看護休暇は時間単位で年次有給休暇とは別に有給で取得可能、保育手当（保育料の半額3万円上限）の支給などを実施しています。

〒995-0024 山形県 村山市楠岡笛田2丁目19-57 TEL:0237-52-1511 E-mail:higashizawa@gray.plala.or.jp

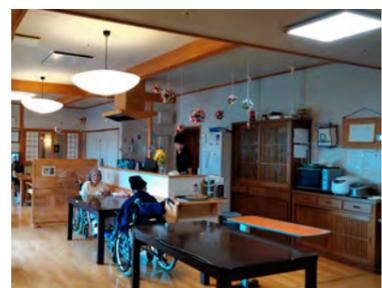
定員：【特養】9ユニット90床、【ショート】1ユニット10床、【デイサービス】30名

山形県

社会福祉法人 慈敬会

特別養護老人ホーム おばなざわ

～入居者が安心して暮らせる「もうひとつの我が家」になりたい～



木をふんだんに使った内装と調度品

【入居者に寄り添った支援】
ユニット型個室だからこそ、我が家のように自分らしく暮らしていただける支援が



冬は除雪作業が欠かせません



施設外観

【施設の紹介】
平成20年、県内でも豪雪地として有名な尾花沢市に開設しました。内装は横戸や障子窓を設け、入居者様が住み慣れた家の雰囲気を醸し出すようにしています。



◎Sさん
現役時代は農家をされていたSさん。現在は山形県老人ホーム輪投げ大会で好成績



お部屋の入り口には「みんな元気で幸せに」と書道の作品が飾られています。



【小牧さん】
編み物や書道が趣味の小牧さん。お部屋には編み物の作品や毛糸がたくさん。

今後もより一層、地域との関わり方を密にしていき、地域に開かれた施設、地域に根差した施設作りということを目指していきたいと考えております。

他にも、特別支援学校生の実習や、隣接する市町村の教職員の初任者研修の受入れなどもしております。

当施設では、ボランティアの受入れに力を入れていきます。歌や踊りの定期的なボランティアの受入れはもちろん、尾花沢市から派遣され来所して下さっている保健委員ボランティアや市内の中学校からのボランティアなど、限られたスタッフ数では対応が難しいレクリエーションの部分などを対応していただいております。



Sさんの居室

〒999-4223 山形県尾花沢市大字五十沢186番地 TEL:0237-23-3030 E-mail:obanazawa@e-jikeikai.or.jp

定員：特養57部屋（10部屋×3ユニット、9部屋×3ユニット）、ショート3部屋